

1. 1学期当初の「家庭訪問」とは？

- ・これを「家庭訪問」と思っている教師は意外に多い。これは一つの行事のようなもの。
本当の「家庭訪問」とは、それ以外の時のことを指す。

2. 連絡帳 < 電話 < 家庭訪問

- ・1日休んだら連絡帳に書く(字) 2日休んだら電話をかける(声) 3日休んだら家庭訪問に行く(顔)

3. 「教育」とは「今日行くこと」 教育は足でかせぐもの

- ・「教育とは共育」は、ずっと先の方にあり、それは「足でかせいだ」後にやってくる。
- ・足でかせぐ教師は、子どもからも親からも、信頼されるようになる。

4. 「家庭訪問」とは、いいことを言いに行くもの

- ・「トラブルがあった時に家庭訪問に行く」は最悪の家庭訪問。
最良の家庭訪問とは「いいことを言いに行くもの」「元気の素を運んで行くもの」
- ・トラブルがあつてからの後追い指導はしんどくなるばかり。先手必勝、問題が起こる前に行くこと。

5. たった5分でOK! 「5分間家庭訪問」のすすめ

- ・しんどい子ほど足を運んでやること、学校の帰りに5分間だけ家に寄る。
- ・5分間家庭訪問で、自尊感情が育っていく。「自分大好き、友達大好き、学校大好き」
- ・何を言いにいくのか? 玄関先で少し話すだけ・・・それがコツ。

→いいこと、成長したこと、うれしかったこと・・・悪いこと以外はなんでもいい。

言うことがない時でも「近くまできたので、ちょっと寄りました」

「今日ちょっと元気がないように見えたのでどうかなと思って来ました」

(→本当は元気なのはわかっている、そう言うと親はうれしいもの)

- ・わざわざ私のためだけに・・・それだけで子どもも親もうれしいし、元気が出てくる。
- ・5分間家庭訪問にアポはいらない。突然行っても「いいこと」なら誰も怒らない。
- ・5分間家庭訪問をしておれば、その後トラブルがあった時も解決は早くなる。
- ・最初の一歩を踏み出すことができれば、5分間家庭訪問ほどおもしろいものはない。

6. トラブルがあった時の家庭訪問は？

- ・まずは行く、すぐに行く。時間がたてばたつほど相手の怒りは大きくなる。
- ・顔が見えないと腹がたつことも、会って話すと心はほぐれるもの。
- ・門前払いもある。でも懲りずに行く行く行く。3日も行けば必ず開けてくれる。
- ・トラブルは抱え込まない。報告、連絡、相談の連携を密にしていく。チームで解決へ。

7. 不登校の子への家庭訪問は？

- ・担任が一人で責任を背負い込まないこと、みんなで気楽に続ける。
- ・そんなにがんばらなくてもいい・・・でもあきらめない取り組みを。
- ・うまくいく日とうまくいかない日があつて当たり前、門前払いもありうる。

8. 家庭訪問は、新たな発見、新たなつながり、そして信頼に向かっていく

- ・堀の社会の点数 ・転入生の算数 ・くちゃんの母 ・わたたんの小遣い
- ・桑原のお父さん ・中野の九九 ・松竹忍者 ・1週間休んだら
- ・大村のお母ちゃん ・宮崎の数学 ・嵐山とのゲーム ・転入生への挨拶
- ・平本の門前払い ・韓国の置物 ・組ののれん ・尾崎の家事仕事 等